



帯山小学校だより

No.13 R6.2.1 文責 校長 西方 浩一

快晴＋無風＋温暖！のどんとや日和でした。

先月14日（日）、5年ぶりに本校校庭でどんとやが行われました。この日は、快晴の上、風もなく、暖かで、絶好のどんとや日和でした。今回が33回目ということでしたが、これ以上のどんとや日和は一、二度しかなかったと地域の方からお聞きしました。



破竹の轟音とともに、勢いよく燃え上がる炎に子どもたちも感動した様子でした。そんな子どもたちの姿に、地域や保護者の皆様も目を細められ、「無病息災」を願っていらっしゃいました。まさに「帯山の子どもは、帯山の中で育まれる」瞬間を見た思いでした。また、この日は、帯山中学校の校長先生も応援に駆けつけてくださいました。点火式では、私と二人でトーチを掲げ点火しました。地域の方から「小・中仲がいいですね。」と言っていただきました。後片付けには、本校保護者でもあるむつみ建設の井上さんが重機を持ち込まれ、整地までしていただきました。みなさんのおかげで、本当にいい時間を過ごすことができました。このような地域の伝統行事がさらに受け継がれ、発展していくことを願っています。



「野球しようぜ」

3学期始業式の午後、本校にもメジャーリーガー大谷翔平選手から寄贈されたグローブ3個が次のようなメッセージとともに届きました。

（前略）メジャーリーガー、大谷翔平です。（中略）この3つの野球グローブは学校への寄付となります。私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。 野球しようぜ。

寄贈されたグローブは、全学級を回し、子どもたちに見て触れてもらいました。今後は、飾っておくだけでは意味がないですので、テニスボールを3個つけて、各学級を回していこうと思います。

来て来て先輩！熊本ヴォルターズ#10 菅澤紀行選手

先月18日（木）、熊本ヴォルターズの菅澤紀行選手の講演会を6年生に向けて本校体育館で行いました。菅澤選手は、鹿屋体育大学を卒業し、一度教職の道に進まれた後、プロバスケットボールの選手になられたそうです。「夢は一つだけでなく、たくさんあってよい。」「1万時間頑張れば、才能がなくても夢はかなう。」「なぜ勉強するのか？自分の選択肢を増やすためである。」「ミスは、自分は覚えているが、隣の人は覚えていない。」「くじけてやめたことも、もう一度始めればよい。」など心に残るお話をたくさんしてくださいました。話を聞いた6年生は、たくさんの夢を抱きながら小学校を卒業し、中学校へと進学してくれることと思います。

